

アンリツ価値創造モデル

アンリツの企業価値の源泉は、アンリツらしさの「信頼性、適応力、先進性」の根源でもある、有形、無形の各資本です。

アンリツへの期待

- **通信計測事業** 5G/IoTの進化で社会イノベーションを牽引する
モバイルブロードバンドサービスの進化で快適なコミュニケーションを実現する
地球規模で強靱なネットワークインフラを実現して安全・安心、快適なグローバル社会を実現する
- **PQA事業** 食品や医薬品に対する安全・安心の要求に応える品質保証を実現する
食物資源の適切な利用で生態系への影響を減少させる

インプット

知的資本

127年の知の集積、イノベーション力

- ・無線・有線通信技術の蓄積
- ・ネットワーク品質保証技術
- ・超高速・光デバイスの開発・製造
- ・秤応用・異物検出技術
- ・高電圧・大電流・大容量の電気エネルギー制御技術
- ・研究開発投資：売上の12~14%
- ・グローバルな開発体制
開発拠点：9拠点

人的資本

グローバルな組織と人財

- ・最先端技術をリードする人財
新卒採用人数：技術系35人、事務系18人
(2021年4月入社)
- ・連結従業員数：3,954人
(うち海外人員：1,657人)
(2021年3月末)

社会・関係資本

業界トップのリーディングカンパニーとのパートナーシップ

- ・お客さまとの強固な信頼関係
- ・業界トップ企業とのコネクション
- ・グローバルな取引先（サプライヤ）
- ・BCP（事業継続計画）に基づくファンリティとSCM*
SCM拠点：12拠点（うち海外：7拠点）

* SCM：Supply Chain Management

財務資本

市場環境の変化に備えた安定した財務基盤

- ・有利子負債：58億円
- ・自己資本：1,095億円

製造資本

オリジナル&ハイレベルなものづくり

- ・グローバルな製造拠点ネットワーク
製造拠点：9拠点

自然資本

バリューチェーン全体で展開する環境経営

- ・水使用量：77,085m³
- ・エネルギー使用量：8,460kL

*数値は注記がない場合2020年度

ビジネスモデル



アンリツは、持てる資本を最大限に活用して、社会課題の解決に貢献する企業活動を実践してまいります。

事業を通じて 解決する 社会課題



● 通信計測事業

P.28

安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献する **9**

● PQA事業

P.32

安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献する **9**

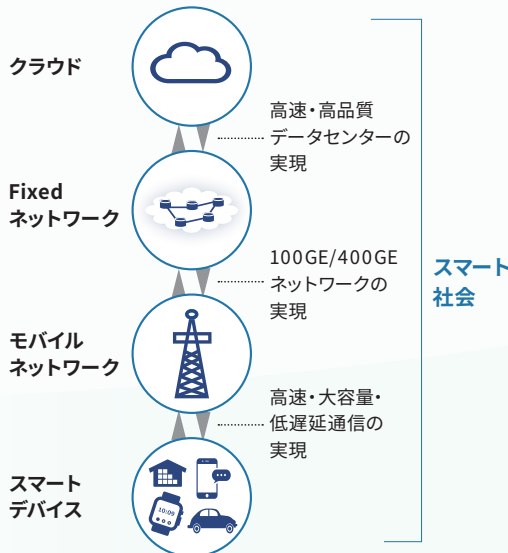
安全・安心であらゆるものがつながる強靱なネットワークインフラを整備し、持続可能な社会の建設に貢献する **11**

食品や医薬品の品質保証の高度化を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる社会、食品ロスの少ない持続可能な社会の実現に貢献する **12**

アウトプット

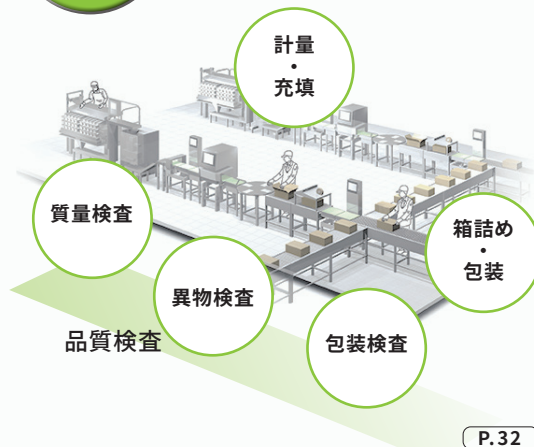
通信計測事業

5G/IoTネットワークを支え、
社会イノベーションを牽引する
計測ソリューション



PQA事業

食品、医薬品の品質を
保証するソリューション



アウトカム

■ 知的資本

世界最先端の通信インフラ構築に貢献

- ・開発ROI 4.0以上を目指す製品
- ・R&D投資：114億円

■ 人的資本

・新卒採用人数：技術系30人、事務系22人
(2022年4月入社)

- ・社員満足度調査：
働きやすさ満足度90% (2020年度90%)、
働きがい満足度75% (2020年度75%)
- ・女性取締役比率：10%
- ・女性の幹部職比率：日本2.8%
グローバル10.9%

■ 社会・関係資本

顧客が必要とするソリューションの提供

- ・新製品数：通信計測事業 8機種
PQA事業 3機種

(⇒P.28 通信計測事業、P.32 PQA事業で代表例を紹介)

持続可能なサプライチェーンの構築

- ・サプライチェーン・デューデリジェンスの
実施：6社 (2020年度0社)

*2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、実施できず。

- ・GLP 2023の3年間の累積
実績：6社
- ・CSR調達に係るサプライヤーへの情報発信：
3回、教育：1回

■ 財務資本

適正な株主還元

- ・TSR：5.1% (10年間年率)
- ・自己資本：1,144億円
- ・発行体格付：A (R&I)
- ・有利子負債の利払額：65百万円

■ 製造資本

- ・設備投資額：57億円

■ 自然資本

地球環境保護に貢献

- ・温室効果ガス (Scope 1 + 2)：2015年度
比17.7%削減
- ・温室効果ガス (Scope 3)：2018年度比
14.7%削減
- ・再生可能エネルギー自家発電比率：16.8%
(2018年度電力消費量を基準)

*数値は注記がない場合2021年度

「はかる」を超える。
限界を超える。
共に持続可能な未来へ。

経営ビジョン

サステナビリティ 方針

私たちは
「誠と和と意欲」をもって
グローバル社会の
持続可能な未来づくりに
貢献することを通じて、
企業価値の向上を目指します。